

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年06月01日

計画の名称	氷見市住まい整備計画（第4期 氷見地域住宅計画）											
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	氷見市											
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 「公営住宅のストック改善を計画的に実施し、住宅セーフティネットの維持と高齢者や子育て世帯が安心して住めるまちづくりを実現する。」 「不良住宅の解体撤去や、市内住宅取得者への補助を行うことにより、良好な住環境と住文化の形成を図り、定住を促進する。」 「市民のニーズに合わせた住情報の提供により、市民が安全で安心して住み続けられる住環境づくりを目指す。」 											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	212	A	212	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3		R7
1	公営住宅の水洗化率を75%から78%に引き上げる。 公営住宅の水洗化率を75%から78%に引き上げる。 (公営住宅の水洗化率) = (水洗化されている住戸数 / 全戸数) [出典: 氷見市都市計画課]	75%	%	78%
2	公営住宅の浴室改修率を23%から44%に引き上げる。 公営住宅の浴室改修率を23%から44%に引き上げる。 (公営住宅の浴室改修率) = (浴室改修済住戸数 / 全戸数) [出典: 氷見市都市計画課] 浴室の改修が必要な公営住宅の戸数の合計を全戸数とする。	23%	%	44%
3	空き家率を13.8%から13.4%へ引き下げる。 空き家率を13.8%から13.4%へ引き下げる。 (空き家率) = (空き家戸数 / 全戸数) [出典: 総務省住宅土地統計調査]	14%	%	13%
4	公営住宅の外壁改修率を0%から86%に引き上げる。 公営住宅の外壁改修率を0%から86%に引き上げる。 (公営住宅の外壁改修率) = (外壁改修済棟数 / 全棟数) [出典: 氷見市都市計画課] 外壁の改修が必要な公営住宅の棟数の合計を全棟数とする。	0%	%	86%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	氷見市	直接	氷見市	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業	居住性向上型・長寿命化型 12棟(91戸)	氷見市						134		策定済
	A15-002	住宅	一般	氷見市	間接	氷見地域住宅相談所	-	-	住宅相談・住情報提供事業	定期相談会1回/月の実施	氷見市						3		-
	A15-003	住宅	一般	氷見市	間接	個人	-	-	ふるさと定住促進事業	市内住宅取得者へ補助	氷見市						27		-
	A15-004	住宅	一般	氷見市	直接	氷見市	-	-	住宅地区改良事業等(空き家再生等推進事業)	除却4件、実態把握2,000件	氷見市						13		策定済
	A15-005	住宅	一般	氷見市	間接	個人	-	-	住宅地区改良事業等(空き家再生等推進事業)	除却(補助)69件	氷見市						35		策定済
											小計						212		
											合計						212		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

氷見市建設部都市計画課において実施

事後評価の実施時期

令和8年度

公表の方法

インターネット（氷見市のホームページ）にて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・公営住宅等長寿命化計画に基づいた事業により既存公営住宅のストック改善を推進し、高齢者や子育て世帯にとって安全で快適な居住空間の提供ができた。
- ・公営住宅の水洗化や浴室改修及び外壁改修を行うことで、住宅セーフティネットの機能を向上することができた。
- ・老朽危険空き家の除却を支援することで、市内の空き家対策事業を進めるとともに、災害に備えたまちづくりができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

- ・ふるさと定住促進事業においてマイホーム取得支援など実施したことで、転入者や子育て世帯の居住を推進し、定住促進に繋がった。
- ・住宅相談及び住情報の提供を実施し、良好な住環境と住文化の形成を図り安全で質の高い住環境づくりを推進した。

特記事項（今後の方針等）

- ・令和元年度に策定した「氷見市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、予防保全的な観点や安全で快適な住まいを供給するため、改善事業を進め、効率的な維持管理を実現し、長寿命化による更新コストの削減と事業量の平準化を図る。
- ・また、令和7年度に策定した「地域住宅計画」においても、既存市営住宅ストックの居住環境の向上や長寿命化計画に基づく住戸改善、子育て世帯、高齢者等に使いやすい住戸に改善する。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	（公営住宅の水洗化率） = （水洗化されている住戸数 / 全戸数）（%） [出典：氷見市建設部都市計画課]	
	最終目標値	78%
	最終実績値	78%
目標達成。（差分無し）		
2	（公営住宅の浴室改修率） = （浴室改修済住戸数 / 全戸数 ） [出典：氷見市建設部都市計画課] 浴室の改修が必要な公営住宅の戸数の合計を全戸数とする。	
	最終目標値	44%
	最終実績値	49%
計画に基づき事業を実施したが、公営住宅長寿命化事業全体の予算調整により実施箇所を追加したことにより、目標値と差が生じた。		
3	（空き家率） = （空き家戸数 / 全戸数） [出典：総務省住宅土地統計調査]	
	最終目標値	13%
	最終実績値	17%
計画に基づき事業を実施したが、想定を上回る市内人口の減少から、空き家件数が増加しており、目標値と差が生じた。		
4	（公営住宅の外壁改修率） = （外壁改修済棟数 / 全棟数 ） [出典：氷見市建設部都市計画課] 外壁の改修が必要な公営住宅の棟数の合計を全棟数とする。	
	最終目標値	86%
	最終実績値	29%
計画に基づき事業の実施を試みたが、財政的な面で計画通りの改修に至れなかったことから、目標値と差が生じた。		

参考図面

計画の名称	氷見市住まい整備計画（第4期 氷見地域住宅計画）		
計画の期間	令和3年度 ～ 令和7年度（5年間）	交付対象	氷見市

